



たいせつ

大雪（7日）… いよいよかえでが色付き始めました …

裏庭の柿は、収穫してみると立派な柿がなんと130個近くもありました。とても甘くておいしい柿でした。自然からの贈り物に感謝です。築山の小さなイチヨウも黄色く色付いて、大雪になった頃から、かえでの葉も少しずつ赤みを帯びてきました。

<閉塞成冬 そらさむく ふゆとなる 12月7日~10日>

大雪の初候は「閉塞成冬」です。天地の気が塞がれ、冬が訪れる頃という意味だそうです。確かにこのところ、朝の気温がぐっと下がり、かえでが赤みを帯びてきました。

<葉が落ちて、柿自体も色付き始め…>

以前から柿の存在は多くの子どもたちが知っていました。秋が深まり始め、葉が色付き始め、少しずつ葉が落ちていくにつれて柿自体も色付き始め、その存在がはっきりと見えてきました。裏庭には教師と一緒に行くのですが、見に行きたいというリクエストが増えていき、私のところにも、「園長先生、柿はいつ採りますか?」「まだですか?」という催促の声がどんどん増えてきていました。

<ついに収穫! 南青山産のブランド柿>

私も毎日、裏庭に行き様子を見守っていました。11月末の誕生会で、試みに採った柿を紹介して、期待を高めた上で、2日に収穫しました。年長児を中心に、次々と子どもたちが様子を見に来て、高枝切り鋏で切る様子を応援してくれました。主事さんに手伝ってもらいながら、枝ごと数個が採れるとずっしりと重くて、歓声があがります。交代でみんなが見に来ては、収穫した柿をうれしそうに運んで行きました。

<おいしい柿はいくつあるかな?>

食べたい気持ちは、数を数えるには十分な動機付けになりました。10個ずつにまとめて数えるというアイデアは、夏にジャガイモを数えたときの経験が生きています。少し傷んでいたものも含めて130個近くは採れました。実際に食べたのは翌週でしたが、特に年長児は「世の中にこんなおいしいものがあったのか」「めっちゃ甘かった!」と大満足でした。年中・年長児は一人一個ずつ持ち帰り、家でも味わってもらえました。11月の誕生会の年長児の冠の飾りも柿でした。都会の真ん中で、こんなおいしい実りを自分たちで収穫し、味わうことができる青南の子たちは幸せです。また、記憶に刻まれる味が増えましたね。



青空の下、裏庭の柿がオレンジ色に…



みんなが見守る中で、いよいよ収穫!



色も形も味も一級品の南青山産の柿



年長児は誕生会の冠の飾りも柿!



ジャガイモを数えたことを思い出して10個ずつにまとめて数えていました



収穫した柿を並べておくと保護者の皆さんもびっくり!



並べてみるとお店で売れそうなほど